

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ
No.1778長期継続大型地震推定前兆
原稿校了後の前兆変化についての続報

続報 No.335

2022.08/28 (日曜) 14:30 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

No.1778 続報 PBF終息→9月6日(最大誤差 9/6±3) 発生の可能性

図1

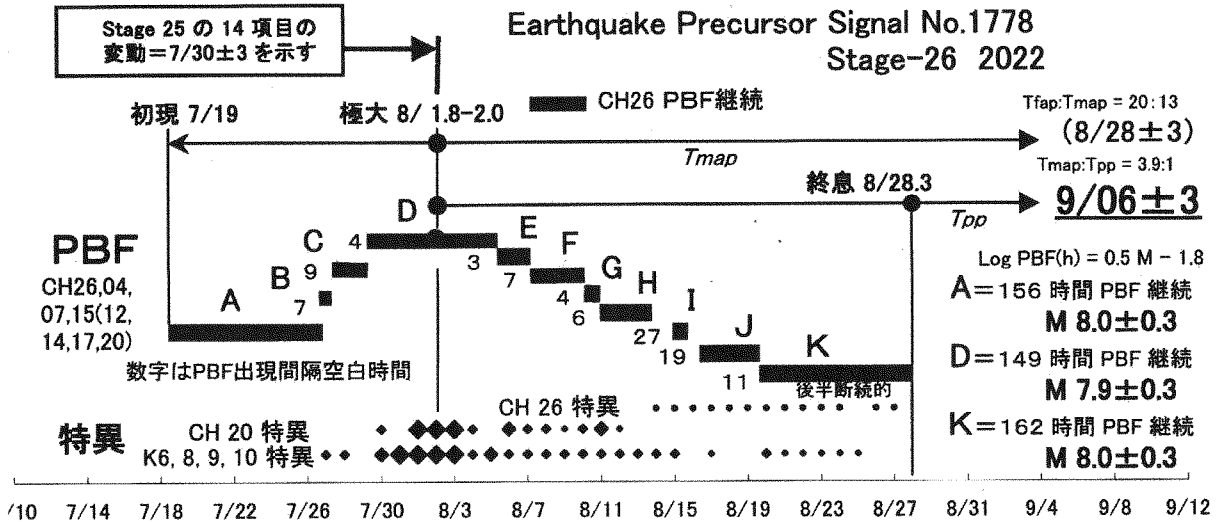
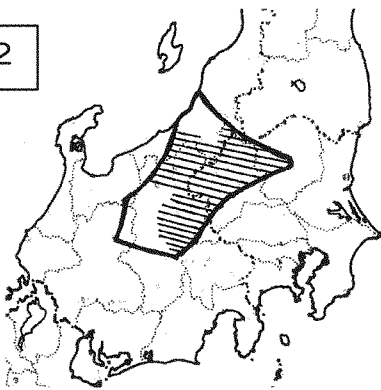


図2



CH26-PBFは8/24に終息かと思われましたが、弱い特異の中にPBFが弱く継続し、本日8/28朝07時、PBFは終息致しました。今までCH26-PBFと同期又は補完的にPBFが断続的に出現していたCH07,15にもPBFは無く、このまま再出現がなければPBFは完全終息した可能性有。図1のCH26-PBF出現を表すKの後半は、例えば1時間PBF出現後、1時間特異のみでPBFなし等、PBFは断続的出現でした。KのPBF出現時間計は約162時間となり、経験式より M8.0±0.3規模が推定されます。図1のA・D・Kと3回もM8±規模を示すPBF継続出現が現れ、過去例には無い形態です。また、初現～極大関係も経験則に合いません。No.1778前兆は異例だらけです。発生時期推定は極大～終息の経験則で計算しました。CH26の微弱な特異は8/14.3から出現しただいたため、08月末まで継続する可能性有。終息認識のPBFの再出現があった場合は発生時期を続報で修正予定。

No.1778 推定内容の根拠 (経験則等)

No.1778 対応地震 推定内容

◆推定領域：図2太線内領域 (火山近傍領域)
斜線域 = 可能性考え易い参考推定領域

◆推定規模：M8.0±0.3

地震に伴う近隣火山活発化or噴火 = 完全否定は困難

◆推定時期：9月6日(最大誤差9/6±3)の可能性
前兆変動再出現の場合は続報で修正

◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震

◇推定発生時刻：AM 9:00±2 又は PM 5:00±3

20観測装置を超えるBF,PBF,特異等の前兆変動出現影響局位置から経験則によるドーナツ円を描き求めた。火山近傍地震前兆変動も多数観測されたため、火山近傍域考え易い

12回出現した主なPBF変動の出現継続時間から経験式で推定M7.8~M8.0を示す。最大推定規模値M8.0±0.3を使用

続報327参照の火山噴火型近似変動観測。噴火の可能性若干有。噴火発生がないとは断定困難(過去例なく確定困難)推定領域内の主な火山は日光白根山・草津白根山・浅間山・新潟焼山等

14年2ヶ月継続前兆変動のStage-26の変化 図1より

前兆期間が14年と長いことから地殻地震推定。前兆変動出現数が最大30観測装置と最多から陸域地震推定。過去例より、これ以外は考え難い

一日に2回現れる複数BT変動の日々出現開始時刻・終息時刻より